平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	主要市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業費を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。
②①に基づく取組み結果	社会資本整備総合交付金を導入した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	主要市道	意図（対象をどうするのか）	測量、設計、用地補償、工事を行う。
②事務事業の概要	安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険箇所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	事業開始前は、主要市道でも歩道が無く交通量に見合った幅員や舗装となっていなかった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	主要市道の舗装改良及び排水整備を行った。 （1）市道37号線舗装改良工事（L=136m）、（2）市道51号線舗装改良工事（L=208m）

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	59	1,318	1,617	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	429	1,747	3,364	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		94,901	176,703	金額（千円）	内容	258,982
	国支出金（千円）	19,067	14,072	19,205	市道37号線舗装改良工事	110,748
	県支出金（千円）			18,360	市道51号線舗装改良工事	
	市債その他（千円）		127,700			66,800
	一般財源（千円）	75,834	34,931			81,434

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠である。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	市道2号線舗装改良工事他11路線	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	市道2号線舗装改良工事他11路線	217,546	243,246	当初	190,205	176,703	H25からの繰越 23,597
③達成状況	未完了			H25⇒26繰越	25,700		
④未完了・非着手の理由	県水道局工事と競合し調整に不測の時間を要したため等により繰越ししたため。			補正	27,341		現年分 153,106
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	59,438				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	一般市道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市民のニーズに対応すべく、道路整備の更なる拡大とコスト縮減のための整備手法の更なる検討。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	コスト縮減のための整備手法の更なる検討。
②①に基づく取組み結果	設計比較及び再生材を使用してコスト縮減を図った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市道	意図（対象をどうするのか）	安全でゆとりのある道路に整備する。
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	生活道路となる一般市道が未整備で、舗装整備や道路排水整備の必要があった。住民の要望が満足となるよう本事業を推進する。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：舗装改良及び道路排水施設としての側溝の整備を行った。
（1）市道3308号線排水整備工事（L=94.3m）（2）市道4517号線舗装改良工事（L=503m）、

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	工事延長	106	1,009	1,157	m	業務取得
	ii	工事延長【平成23年度から累計】	288	1,297	2,454	m	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		32,628	43,814	金額（千円）	内容	35,000
	国支出金（千円）	5,231		9,573	市道3308号線排水整備工事	
	県支出金（千円）			15,596	市道4517号線舗装改良工事	
	市債その他（千円）					
	一般財源（千円）	27,397	43,814			35,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、一般市道の整備は不可欠である。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	舗装等整備	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	市道4517号線舗装改良工事他8路線	42,750	45,364	当初	42,750	43,814	H25からの繰越 2,614
③達成状況	完了			H25⇒26繰越	2,614		現年分 41,200
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	私道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市民のニーズに対応すべく、コスト縮減のための整備手法の更なる検討。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	私道舗装整備要綱の見直しを図る。
②①に基づく取組み結果	私道整備の舗装構成を一般市道整備の舗装構成よりも簡易的なものとし、コストの縮減を図った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	私道	意図（対象をどうするのか）	舗装整備工事を行う。
②事務事業の概要	道路整備による地域環境の向上のため、未舗装私道の舗装を推進し地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	事業開始当初は多くの私道が未舗装で日々の生活や環境・衛生面に悪影響を及ぼしていたが、本事業の推進により未舗装区間が少なくなってきた。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：鎌ケ谷市私道舗装整備要綱に基づき、整備要件の整った私道について舗装を実施した。（1）私道舗装整備事業（1組合）（L=50m）

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	工事延長	236	103	50	m	業務取得
ii	工事延長【平成23年度から累計】	746	849	898	m	業務取得
iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	2,537	1,188			4,480
国支出金（千円）			1,188	私道舗装整備工事	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	2,537	1,188			4,480

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）：私道舗装整備要綱の要件を満たす件数が少なくなってきている。

②評価

i 市関与の妥当性	2普通	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
ii 有効性	2普通	iv 効率性	2普通		

③上記評価の理由：市道整備の要望が多数あり、私道整備と市道整備のバランスを取る必要があるため、精査していく。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	私道舗装整備	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	私道舗装整備工事（道路管理組合1件）	1,500	1,500	当初	1,500	1,188	H25からの繰越
③達成状況	完了			H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分 1,188
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業主体である千葉県と連携を図るとともに、必要な財源の確保を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	境界が確定となるよう、事業主体である千葉県と連携を図る。
②①に基づく取組み結果	用地の取得にあたり、事業主体の千葉県と連携し、事業の進捗を図った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・5号線	意図（対象をどうするのか）	整備することで交通の利便性を向上させる。
②事務事業の概要	事業主体である千葉県に対し、地元負担金を支払う。事業延長280m、幅員18m、用地面積4,220㎡、事業認可平成13年12月10日～平成31年3月31日。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	南初富区間から新鎌ケ谷地区まで供用開始したことにより、県道船橋我孫子線のバイパスとしての機能を発揮することが求められている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：県土地開発公社による先行取得のため、地元負担金の支出は無かった。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	10,005	0			3,000
国支出金（千円）					
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	10,005	0			3,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）：境界が未確定の箇所があり、事業用地を取得できない。

②評価

i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		

③上記評価の理由：機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要性がある。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	地元負担金	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	県土地開発公社による先行取得のため、地元負担金の支出は無かった。	3,000	3,000	当初	3,000	0	H25からの繰越
				H25⇒26繰越			
③達成状況	完了			補正			現年分 0
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	新京成線連続立体交差事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県及び関係機関と調整するとともに、必要な財源の確保を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	事業の進捗を図るため、事業主体である千葉県及び関係機関と調整するとともに、必要な財源の確保を図る。
②①に基づく取組み結果	事業主体である千葉県及び関係機関と調整行い、必要な財源の確保を図った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	新京成線高架橋	意図（対象をどうするのか）	関係機関調整し、高架を実現させる（地元負担金を支払う）。
②事務事業の概要	本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を施行する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	新京成線の踏切遮断による交通渋滞、踏切事故や都市の安全性、快適性に遅れが生じていることにより、踏切を早く除却するように求められている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	初富駅と北初富駅の仮駅での運行開始。全区間仮線に切り替え、高架橋築造工事を実施した。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	用地取得率(取得済/用地面積)	97	100	100	%	業務取得
	ii	事業進捗率（事業費ベース）	53	65	77	%	業務取得
	iii	鉄道駅乗降客数(1日当たり)	189,701	190,011	調査中	人	統計かまがや

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		670,533	613,444	金額（千円）	内容	608,326
	国支出金（千円）			613,444	県事業への負担金	
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）	641,100	552,300			524,900
	一般財源（千円）	29,433	61,144			83,426

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	踏切により交通渋滞が多く、市街地が分断されている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市民から早期完成が求められているため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	負担金支出	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	県に負担金を支出した。	387,537	650,871	当初	761,718	613,444	H25からの繰越 229,500
③達成状況	完了			H25⇒26繰越	263,334		
④未完了・非着手の理由				補正	▲ 374,181		現年分 383,944
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	都市計画道路3・3・16号新鎌ケ谷南線整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	事業認可を取得し、地元説明会を実施し、事業に着手する。
②①に基づく取組み結果	予備設計に着手した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・3・16号線	意図（対象をどうするのか）	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	新鎌ケ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	予備設計に着手した。（平成27年度への繰越有）

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		2,998	0	金額（千円）	内容	35,080
	国支出金（千円）					
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）					29,633
	一般財源（千円）	2,998	0			5,447

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	新鎌ケ谷地区周辺には東西にアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ケ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	予備設計図書作成。	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	予備設計委託に着手した。	3,000	3,000	当初	3,000	0	H25からの繰越
③達成状況	未完了			H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由	予備設計について県の関係機関との協議に不測の時間を要したため。			補正			現年分　0
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	1,746				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（新鎌ケ谷）	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	事業認可を取得し、地元説明会を実施し、事業に着手する。
②①に基づく取組み結果	予備設計に着手した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図（対象をどうするのか）	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	新鎌ケ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	予備設計に着手した。（平成27年度への繰越有）

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	2,998	0			35,080
国支出金（千円）					
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					29,633
一般財源（千円）	2,998	0			5,447

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	新鎌ケ谷地区周辺には東西にアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ケ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	予備設計図書作成。	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	予備設計委託に着手した。	3,000	3,000	当初	3,000	0	H25からの繰越
③達成状況	未完了			H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由	予備設計について県の関係機関との協議に不測の時間を要したため。			補正			現年分　0
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	1,746				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（交差部）	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	事業認可の取得に向けて予備設計を行い、事業の拡充を図る。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	事業認可を取得し、地元説明会を実施し、事業に着手する。
②①に基づく取組み結果	予備設計に着手した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図（対象をどうするのか）	測量、設計、用地補償、工事を行い、道路整備を図る。
②事務事業の概要	当該都市計画道路の整備により、新鎌ケ谷地区内の発生集中交通を円滑に処理する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	新鎌ケ谷特定土地区画整理事業により交通の発生集中が生じていることから、平成25年度から本事業を開始した。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	予備設計に着手した。（平成27年度への繰越有）

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
	ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
	iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト		平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）		2,998	0	金額（千円）	内容	35,080
	国支出金（千円）					
	県支出金（千円）					
	市債その他（千円）					29,633
	一般財源（千円）	2,998	0			5,447

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	新鎌ケ谷地区周辺には東西にアクセスする道路がないため、通過交通が生活道路を通り、安全性に欠けている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新鎌ケ谷地区と市域西部地区の接続や道路利用者の安全性や利便性の向上を図る必要性がある。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	予備設計図書作成。	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	予備設計委託に着手した。	3,000	3,000	当初	3,000	0	H25からの繰越
③達成状況	未完了			H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由	予備設計について県の関係機関との協議に不測の時間を要したため。			補正			現年分　0
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）	1,746				

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	都市計画道路3・4・10号中沢北初富線整備事業（中沢）	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	3	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川整備課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	都市計画道路の計画変更に向けて関係機関と協議を行うとともに、予備設計、路線測量を行う。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	都市計画道路の計画変更に向けて、関係機関との協議を積極的に進める。
②①に基づく取組み結果	都市計画道路の計画変更に向けて関係機関と協議を行うとともに、予備設計及び路線測量に着手した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市計画道路3・4・10号線	意図（対象をどうするのか）	計画変更及び予備設計、測量を実施し、道路整備を図る。
②事務事業の概要	都市計画道路の計画変更を行い、一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗に合わせ、整備を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	一級河川大柏川第二調節池整備事業及び地元要望に伴い都市計画道路の計画変更が必要となった。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	概略設計が完了し、予備設計及び路線測量に着手した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	都市計画道路整備延長	12,169	12,169	12,169	m	業務取得
ii	都市計画道路整備率	33	33	33	%	業務取得
iii	「道路の状況」不満足度	―	66.4	―	%	市民意識調査

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
			金額（千円）	内容	
事業費（千円）	0	6,456			75,532
国支出金（千円）			4,966	概略設計委託	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）					
一般財源（千円）		6,456			75,532

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	一級河川大柏川第二調節池整備事業との整備計画の整合を図ること。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	一級河川大柏川第二調節池整備事業の進捗状況と合わせ周辺の一体的な整備が必要である。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	予備設計、測量	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	予備設計及び路線測量に着手した。	20,000	25,500	当初	20,000	6,456	H25からの繰越 4,966
③達成状況	未完了			H25⇒26繰越	5,500		現年分 1,490
④未完了・非着手の理由	都市計画道路の計画変更手続きに不測の時間を要したため。			補正			
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）		13,032			

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	道路維持・補修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	若泉哲也			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	法定点検に対応するためのしくみ検討。
②①に基づく取組み結果	橋梁において、跨線橋の点検に係る条件整理を行った。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	老朽化し、損傷した市道の舗装及び道路付帯施設	意図（対象をどうするのか）	市民の安全性・利便性の確保
②事務事業の概要	市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：○道路補修・清掃委託　○排水管（溝）清掃委託　○未舗装道路補修委託　○道路維持工事

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	「道路の状況」満足度	16.3	14.5	－	%	市民意識調査
	ii	道路パトロール日数	104	128	128	日	業務取得
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	268,716	218,937	金額（千円）	内容	144,398
国支出金（千円）	83,320	25,822	764	報償費	25,455
県支出金（千円）			62,766	委託料	
市債その他（千円）		44,300	155,407	工事請負費	
一般財源（千円）	185,396	148,815			118,943

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	道路及び排水管の清掃、維持補修工事・道路施設の点検	213,365	221,755	当初	201,015	218,937	H25からの繰越 3,175
③達成状況	完了			H25⇒26繰越	4,000		現年分 215,762
④未完了・非着手の理由				補正	14,350		
				流用・充当	2,390		
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					0

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	人孔蓋更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	2	○
政策	32都市活動を支える交通網整備を進めます	担当課室	道路河川管理課			
施策	321安全でゆとりある道路の整備	担当課室長	若泉哲也			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	（平成26年度に事業化され、前回評価がないため内容に記載はありません。）	③平成27年度に取組む改革・改善内容	（平成26年度に事業化され、事業完了したため、平成27度に取り組む事項はありません。）
②①に基づく取組み結果	（平成26年度に事業化され、前回評価がないため内容に記載はありません。）		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	人孔蓋	意図（対象をどうするのか）	通行者や通行車両の事故防止を図る
②事務事業の概要	劣化した人孔蓋を浮上防止装置付きの鋳鉄蓋へ交換する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	通行者や通行車両の事故防止を図るため、道路管理者が管理している経年劣化したマンホール蓋を当初100箇所予定していたことに対し、96箇所の実施したことで事故を未然に防止することができた。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：舗装構成2層：20箇所　　舗装構成1層：76箇所

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	劣化した人孔蓋の交換			96	箇所	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	0	14,392	金額（千円）	内容	0
国支出金（千円）			14,392	人孔蓋の交換工事	
県支出金（千円）					
市債その他（千円）		10,800			
一般財源（千円）		3,592			

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	市民要望等がある場合、当面の間は、維持パトロールで対応とする。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	2普通	ⅲ公平性	2普通	ⅴ総合評価	1終了
	ⅱ有効性	2普通	ⅳ効率性	2普通		
③上記評価の理由	人孔蓋の老朽化による、主な危険箇所の交換処理を終了した。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	工事	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	劣化した人孔蓋を浮上防止装置付きの鋳鉄蓋へ交換する。	14,400	14,400	当初	14,400	14,392	H25からの繰越 0
③達成状況	完了			H25⇒26繰越			現年分 14,392
④未完了・非着手の理由				補正			
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）			0		